

ログの概要について

Audio Architect Ver1.96 において

(今後 Audio Architect のバージョンアップ等により仕様変更される場合があります)

ログファイルは、通常以下のフォルダにバージョンごとに保存され
Audio Architect の Event Log Viewer から開くことができます。

C:\ProgramData\HPRO\Audio Architect

SAEventLog_****sdf

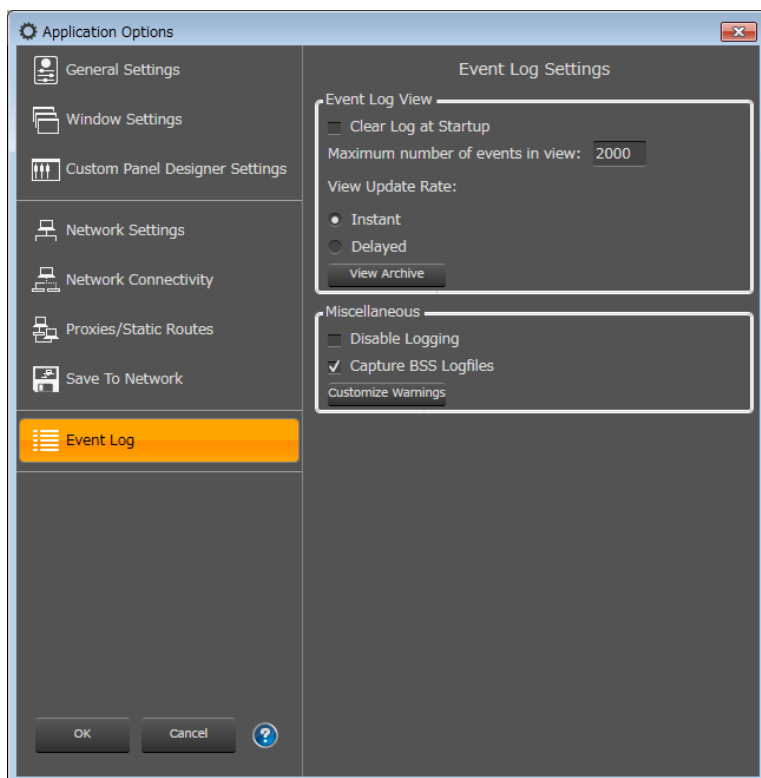
ログファイルは

Audio Architect をアンインストールすると削除されます。

ログファイルが必要な場合は、別途保存しておいてください。

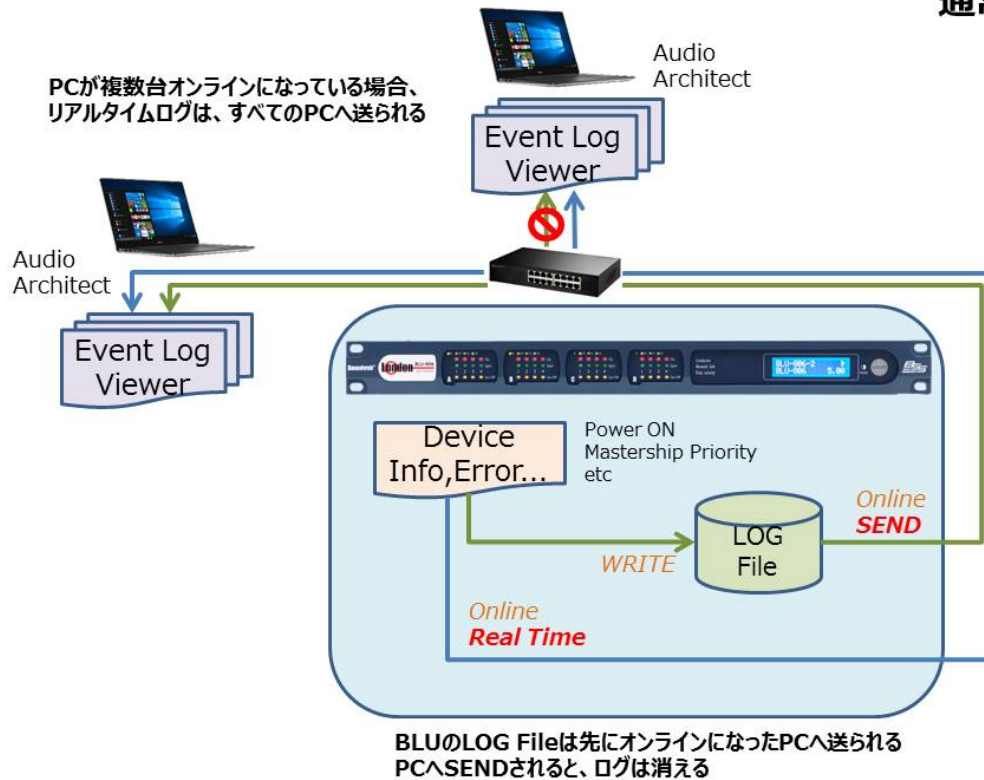
(アンインストールするには、同一バージョンのインストーラーが必要となります)

ログファイルの設定

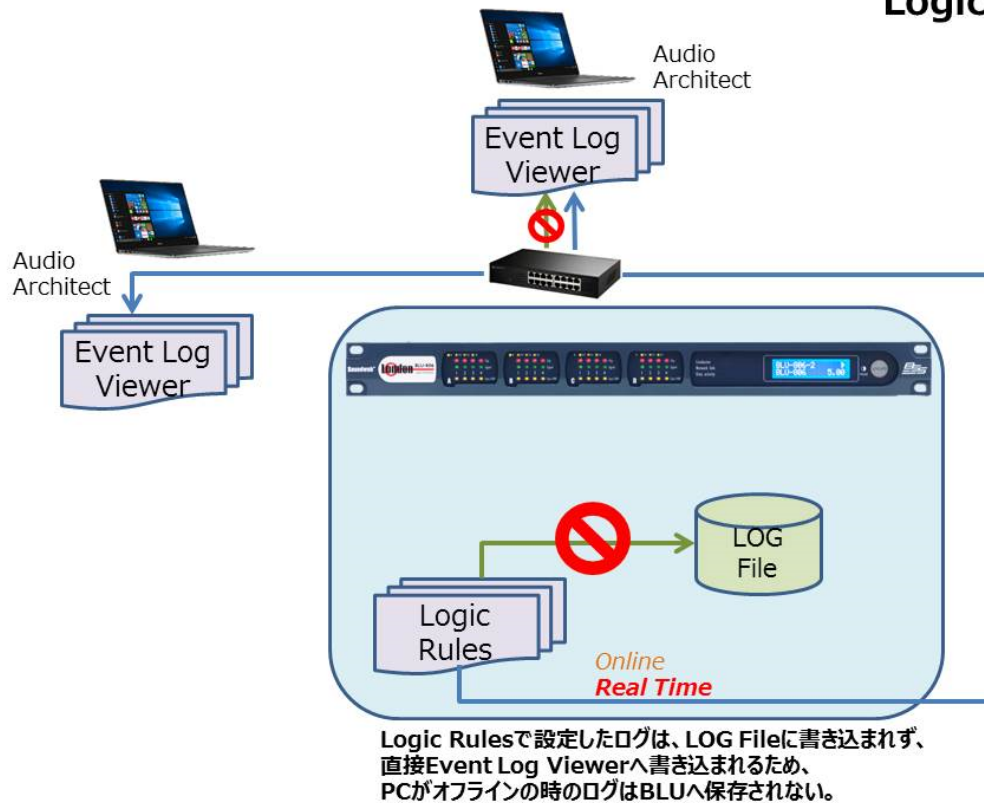


上書きされるわけではなく、上記の場合ログが 2000 行溜まると新たなログが生成されます。
Clear Log at Startup にチェックを入れると、Event Log Viewer を開いた時に、
以前のログが見えなくなりますが、「View Archive」として開くと、見ることは出来ます。

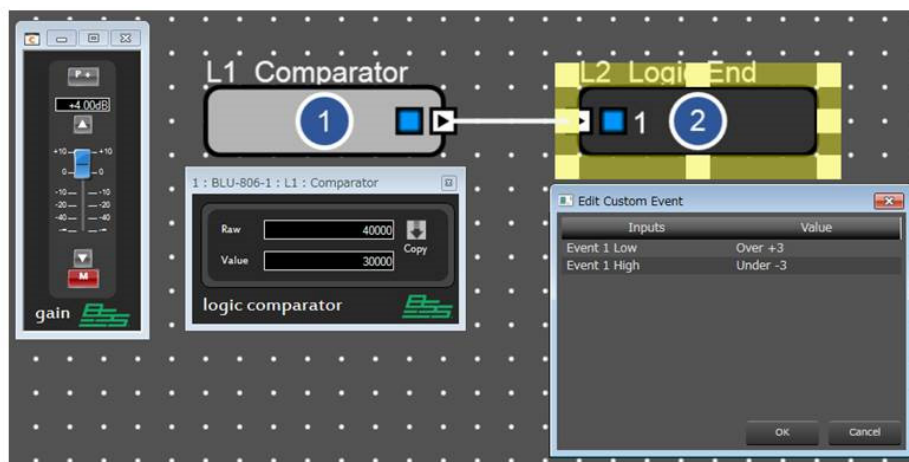
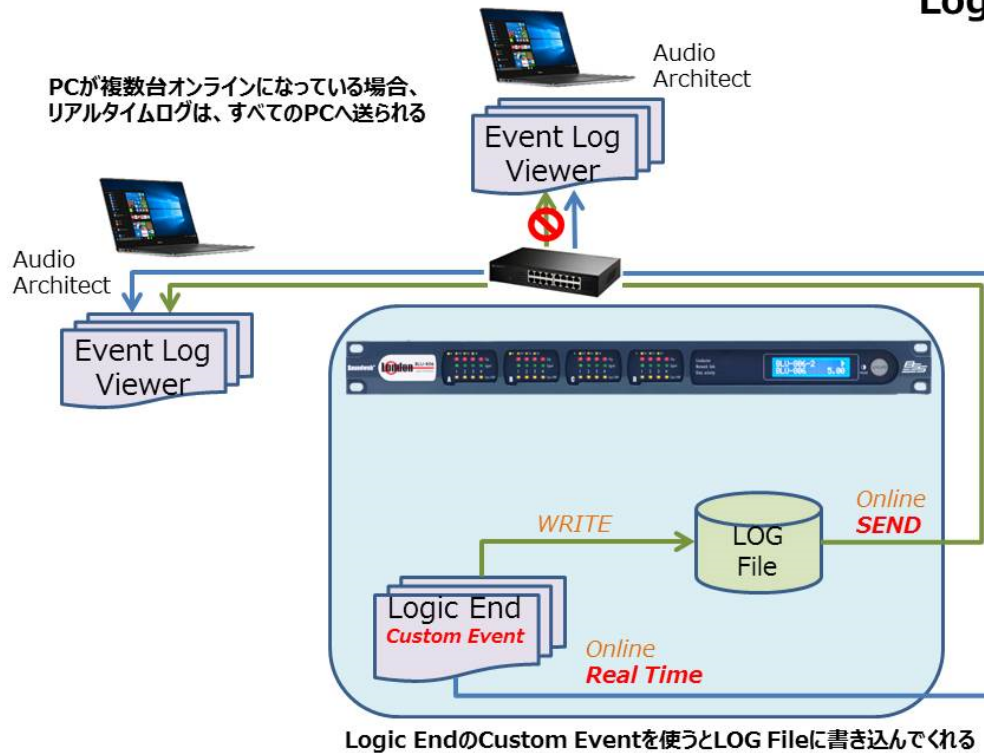
通常のログ



Logic Rules



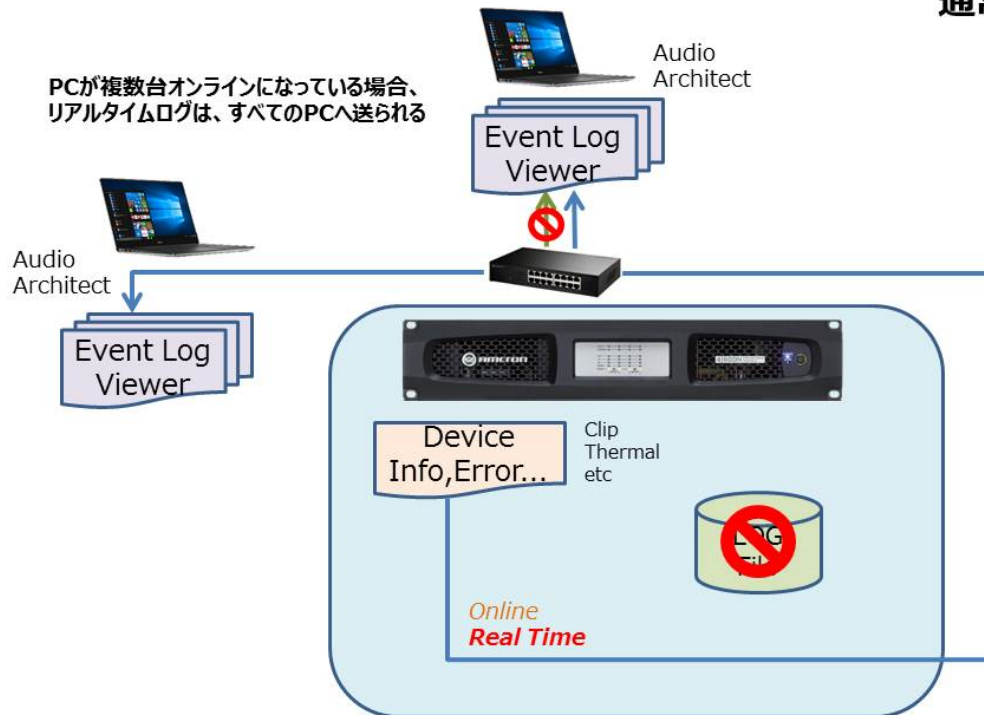
Logic End



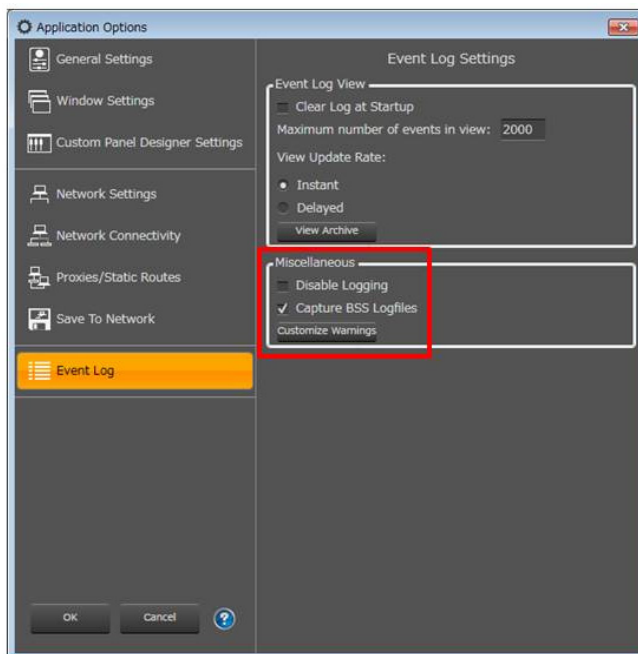
たとえば、Comparatorで閾値を決めて、Logic EndのCustom Eventでログに書き込む文字列を指定する

ただし、オフラインだとEvent Log Viewerには書き込まれない。

通常のログ



アンプにはLogを格納するメモリがないため、オンライン中のリアルタイムログしが取得できない。



先にオンラインになったPCへLog Fileが送られるので、特定のPCへ送りたい場合は、他のPCはCapture BSS Logfilesのチェックを外しておく